

土砂災害への備えを考える防災ジオツアーと 防災講演会を那智勝浦町で開催しました

～紀伊山地砂防事務所～

和歌山大学では平成16年5月、大学の知的資源を最大限に活用し、自治体等と連携しながら地域防災力の向上を推進する和歌山大学防災研究教育プロジェクトを立ち上げ、平成22年4月より『和歌山大学防災研究教育センター』を設置し、さらなる防災の普及を目指して活動を続けています。

今回は平成23年台風12号で被災した那智勝浦町において、防災ジオツアー(自然の恩恵・脅威と備え、その土地の暮らしの軌跡を知る)および防災講演会(平成23年台風12号で何が起きたのか! 2015～紀伊半島大水害の記録を伝えていく～)の内容で開催しました。

防災ジオツアー 【平成27年12月12日(土)】

防災ジオツアーでは、定員を超える42名の参加者と共に那智川流域の土石流現場や地質帯、遺構などを巡り、和歌山大や工事施工担当者から崩壊メカニズムや砂防堰堤施工状況の説明を実施しました。

参加者からは「堰堤の施工位置はどのように決めているのか?」「整備していることについて住民への説明はしているのか?」「堰堤の維持管理はどのようにするのか?」などのご意見を頂きました。



金山谷源頭部



尻剣谷川精錬所跡



尻剣谷川1号堰堤



尻剣谷川2号堰堤

防災講演会 【平成27年12月13日(日)】

防災講演会では、約230名の参加者の中、和歌山大、立命館大、明石高専、近畿地整、民間調査会社から紀伊半島豪雨における災害の概要やメカニズム、文化遺産被害、対策の概要等について講演が行われました。

紀伊山地砂防事務所からは吉村所長が那智川の土石流災害に対する近畿地方整備局の取り組みを紹介しました。

また会場ロビーでは、和歌山県、大学等によるパネル展示や3D立体映像の上映も行われました。



会場風景



事務所職員の講演



展示風景



3D立体映像

(主催団体)

○防災ジオツアー

和歌山大学防災研究教育センター、近畿地整

○防災講演会

地盤工学会関西支部、和歌山大学防災研究教育センター、近畿地整

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局

紀伊山地砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681

TEL 0747-25-3111 (代)

